

## 熱く指導 畜産教育



特区第1号の現場から  
147



牛舎で生徒と談笑する杉村朱里さん(左)=県立但馬農業高校

但馬地域の唯一の農業高校、県立但馬農業高校(養父市八鹿町高柳)で、「あかりちゃん」「すみだや」という異名がある岡本記佳教諭(39)の存在は播磨農業高校でも知られていて、少なからず緊張も覚えたという。

記者が思うに、杉村さんは岡本教諭の「後継者」に「抜擢」された。杉村さんは期待する人たちの計らいに期待する人たちは計らう。

岡本教諭を訪ねた際に、早くから「新しい担当でいた。といつても、口数の少ない岡本教諭。それ以上、杉村さんについて説明したのは昨春だった。それまでの県立播磨農業高校

(加西市)で畜産の仕事を経験していたとはい、但馬牛の本場、但馬で畜産後継者を育成する現場への赴任。それに、但馬牛や子牛市場などを学ぶ良き先生で、「牛飼い」という異名

がある岡本記佳教諭(39)の存在は播磨農業高校でも知られていて、少なからず緊張も覚えたという。

そしてこの9月、但馬農高は、仙台市で開催された第11回全国和牛能力共進会

宮城大会「高校の部」に県代表として出場を成し遂げた。実力もさることながら、経費もかかるため、岡本教諭の念願でもあった。

昨年7月、岡本教諭が出産でとりあげ、生徒たちが手塩にかけた但馬牛のメス「はなゑ」と、中心になつたいすれも同校畜産科3

年上田純也さん(17)、水間達哉さん(18)、中尾円香も入った。「あかりちゃんの頑張りを見てたらほんと喜びをかみしめている。

う」と勝手に思つて月日は過ぎた。

実習助手時代を含め、16年間も但馬農高に勤めた岡本教諭は今春に母校、県立農業高校(加古川市)に転勤した。

そしてこの9月、但馬農高は、仙台市で開催された第11回全国和牛能力共進会

宮城大会「高校の部」に県代表として出場を成し遂げた。実力もさることながら、経費もかかるため、岡本教諭と一緒に、60頭ほどの繁殖牛の肥育牛のうち、岡本教諭どもが「牛たちが心配」と、作業服に着替えた。播磨農

農家への就職を希望する。

9月の大会で杉村さんは生徒らと約1週間、学校を離れた。マイクロバスで仙台から戻った朝、学校の上司から「きょうは帰つて休め」と言われたが、杉村さんは「牛たちが心配」と、

その姿は生徒たちの目に

えた。私がやらないかんと思えば、熱くなれる」と、喜びをかみしめている。

さん。「牛は手をかけただけ良い牛になる」と言う中尾さんは次第に牛が好きになり、卒業後は和牛の牧場に勤務する。上田さんは進学の後、家業の畜産業經營に加わり、水間さんも畜産

農家のへ就職を希望する。

9月の大会で杉村さんは

生徒らと約1週間、学校を

離れた。マイクロバスで仙

台から戻つた朝、学校の上

司から「きょうは帰つて休

め」と言われたが、杉村さ

んは「牛たちが心配」と、

作業服に着替えた。播磨農

高から東京農大を出て、ア

ニマルセラピーを学んだ杉

村さん。「やつと今、一生

懸命になれるものに巡り合

えた。私がやらないかんと

思えば、熱くなれる」と、喜びをかみしめている。

西宮市生まれで、但馬地域には南端の生野銀山まで但馬地域の唯一の農業高校、県立但馬農業高校(養父市八鹿町高柳)で、「あかりちゃん」「すみだや」という異名がある岡本記佳教諭(39)の存在は播磨農業高校でも知られていて、少なからず緊張も覚えたという。

記者が思うに、杉村さんは岡本教諭の「後継者」に「抜擢」された。杉村さんは期待する人たちの計らいに期待する人たちは計らう。

岡本教諭を訪ねた際に、早くから「新しい担当でいた。といつても、口数の少ない岡本教諭。それ以上、杉村さんについて説明したのは昨春だった。それまでの県立播磨農業高校